

科学基礎論学会 2020 年度 秋の研究例会プログラム

日付:2020年 11月14日(土)

会場:オンライン(Zoom利用)

参加費:無料(非会員は要事前登録)

A会場 (ミーティング URL は後日通知)

10:00~11:40 講演
座長 鈴木 貴之

- 10:00~10:30 壁谷 彰慶
「選択の自由」はなぜ・どのように放棄されるべきか
- 10:35~11:05 佐藤 広大
「意図は独特な心的状態か」
- 11:10~11:40 鈴木 真
「規範的理由の本性」

11:50~12:05 科学基礎論学会奨励賞発表および授賞式【総会会場】

12:10~12:50 総会【総会会場】

B会場 (ミーティング URL は後日通知)

10:35~11:40 講演
座長 東 克明

- 10:35~11:05 中根 美知代
「日本の数学史学の形成とパスカル研究」
- 11:10~11:40 清水 哲男
「相対論的量子力学の数学的基礎」

【A会場】

13:00~15:00 「自然言語の形式意味論と心理学」

オーガナイザ 藤川 直也(東京大学)

- 和泉 悠 (南山大学)
「意味研究における実験的手法」
- 藤川 直也 (東京大学)
「semantic universalと学習可能性」
- 橋本 龍一郎 (東京都立大学)
「自閉症の学習・認知様式:個人差からみた言語の普遍性」

【B会場】

13:00~15:00

「多元的一性を支える知の枠組とは何か」

オーガナイザ 田村 高幸(千葉大学)

- 榎野 沙央理 (城西国際大学)
「何がSolipsismusとみなされてきたか」
- 目時 修 (城西国際大学)
「ウェルビーイングの視点から学習の過程を探索する」
- 山田 瑞紀 (早稲田文化館)
「当事者性を表出するとは-Autoethnographyの観点から」
- 入江 俊夫 (東邦大学)
「言語を記述するとは? —Wittgensteinの言語哲学の展開」

【A会場】

15:10~17:10 「Issues in the Philosophy of Mind and Action」*

オーガナイザ ODEA John (University of Tokyo)

- ODEA John (University of Tokyo)
「New Evidence for Perspectival Perception」
- PEEBLES Graham (Osaka University)
「Eliminativism about Phenomenology」
- DIETZ Richard (University of Tokyo)
「What is a Risk?」
- TOOMING UKU (University of Hokkaido)
「Continuity in One's Evaluative Outlook」

*This workshop will be conducted in English.

科学基礎論学会

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-13 MCKビル2階 笹氣出版印刷株式会社内
TEL: 03-3455-4439 URL: <http://phsc.jp/> E-mail: kisoron@sasappa.co.jp